**第11章　運輸及び通信**

**道路**

　昭和60年４月１日現在の府下の道路の実延長は、１万6668.0kmで前年より161.6km増加した。
　これは主に市町村道の増加（161.4km）によるものである。
　道路の実延長のうち舗装道延長は１万4795.2kmで前年より403.6km増加し、実延長に占める舗装道の割合は88.8％となり、前年（87. 2％）より1.6ポイント上昇している。
　また、舗装道の割合をみると、国道100.0％、府道98.2％、市町村道87.3％となっている。
　次に、橋りょう数（橋長15 m以上）は864か所で前年より４か所増加し、５年前と比べると132か所増加している。

**鉄軌道**

　昭和60年度の府下における国鉄の乗車人員の合計は６億4040万人で前年度に比べ368万1000人（0.6％）増加しており、１日平均乗車人員は175万4521人となった。
　１日平均乗車人員のうち最も多かったのは大阪駅（29万2556人）で、以下、天王寺駅（15万8474人）、鶴橋駅（15万6622人）の順であった。
　次に、昭和60年中の府下における私鉄８社の１日平均乗車人員の合計は426万3937人で、前年に比べ３万7436人（0.9％）減少した。
　次に、昭和60年度の地下鉄の乗車人員の合計は8 億6812万8000人で前年度に比べ554万1000人（0.6％）増加しており、１日平均乗車人員は237万8433人となった。

**自動車**

　昭和60年度末現在の府下の自動車保有台数は、267万4005台で、トラックの減少はあったものの前年度に比べ10万213台（3.9％）増加した。
　最も多く増加したのは乗用車で、前年に比べ６万110台増加しており、次いで軽自動車の４万5172台であった。また、トラックは、前年に比べ１万2550台の減少であった。
　自動車１台当たりの人口は3.2人、世帯数では1.1世帯となっている。
　また、自家用乗用車は139万9259台となり全体の52.3％を占め、府民6.2人に１台（5年前は7.5人に１台）、2.1世帯に1台保有していることになる。

**航空輸送**

　昭和60年中における大阪国際空港の旅客、貨物数をみると、旅客数は1745万2 000人で前年に比べ1.2％減少した。
　貨物数量は28万5290 t で前年に比べ3.8％の増加であった。
　これを国内線、国際線別にみると、旅客数は国内線が1397万3000人で前年に比べ32万7000人（2.3％）減少した。
　一方、国際線では347万9000人で前年に比べ11万人（3.3％）の増加となった。
　また、貨物数量は国内線で15万5878 t で前年に比べ5.3％増加し、国際線では12万9412 t で前年に比べ2.1％増と航空貨物輸送は堅実な伸びを示した。

**通信**

　昭和60年度における府下各郵便局の引受内国郵便物数の状況をみると、通常総数（小包を除く）は14億7819万通となり、前年度に比べ5.3％増加し４年連続の増加となった。
　また、引受外国郵便物数は通常総数1237万2000通で、前年度に比べ1.9％減少した。
　次に、昭和59年度末における府下全域の加入電話総数は、358万7000台で前年度に比べ3.0％増加した。
　そのうち事務用は122万5000台で住宅用は236万2000台と前年度に比べそれぞれ3.1％、3.0％増加した。
　この結果、住宅用加入電話は、1.2世帯に１台の割合となった。